

月 日	担当館名	電 話	担当者
11月 14日	県立近代美術館 文化の森企画広報室	tel: 088-668-1088 fax: 088-668-7198	学芸課 友井、竹内、 安達

特集展示「シュルレアリスムのはじまり」 の開催について

趣旨

20世紀を代表する芸術運動の一つ「シュルレアリスム」の特集展示を開催します。これは近代美術館の所蔵作品展の一部として企画されるものです。

20世紀初頭に発生し、現在も大きな影響力を持ち続けている芸術運動「シュルレアリスム」。それは、若き詩人や絵描きたちの集まりからはじまりました。彼らは、理性や主観、伝統や道徳、先入観など、我々の思考や制作をコントロールする様々なものからの解放を求めて活動します。

そんなシュルレアリストたちにとって大きな靈感源の一つとなったのは、19世紀末のフランスの詩人ロートレアモンの詩集『マルドロールの歌』でした。とくに「解剖台の上の、ミシンと蝙蝠傘の偶然の出会いのように美しい」という詩句は有名です。

シュルレアリスムの発生に重要な役割を果たした詩集『マルドロールの歌』。今回の特集では、これに挿絵を寄せたサルバドール・ダリの版画を中心に、シュルレアリスムの源流を探ります。また『マルドロールの歌』をモチーフに制作された山下菊二、駒井哲郎の作品もあわせてご紹介します。会場では、自動筆記(オートマティスム)の体験コーナーも設けます。

展覧会概要

- 1 名称** 特集「シュルレアリスムのはじまり」
所蔵作品展「徳島のコレクション 2012-III」 特集展示
- 2 会期** 平成24年11月20日[火]ー平成25年1月27日[日]
開館:午前9時30分ー午後5時
- 3 会場** 徳島県立近代美術館
(〒770-8070 徳島市八万町向寺山 <http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/>)
- 4 休館日** 月曜日、12月29日～1月4日、12月25日、1月15日
*12月24日、1月14日は開館
- 5 観覧料** 一般 200[160]円／高・大生 100[80]円／小・中生 50[40]円
*[]内は20名以上の団体料金です。*障害者及び介助者1名、高齢者(65歳以上)は無料になります。*小・中・高生は土・日・祝・振替休日、及び冬休み期間は観覧料が無料です。*祝日の観覧料は、大学生と一般も無料となります。

出品内容 41点

- サルバドール・ダリ(1904-89年 スペイン出身)の版画集〈マルドロールの歌〉(1974年)29点
- 山下菊二(1919-86年 徳島県三好郡井川町[現・三好市]出身)による〈マルドロールの歌〉(1947年)の連作10点
- 駒井哲郎(1920-76年 東京府[現・東京都]出身)の挿絵本『マルドロールの歌』(1952年刊)
- 菊畑茂久馬(1935年- 海部郡由岐町[現・美波町]出身)のオブジェ〈詩人の帽子〉(1979年)

関連事業

【きんぴセミナー シュルレアリスムへの招待】

12月9日[日] 午後2時～4時／アトリエ[3階]と展示室[2階]／参加無料

講師:友井伸一(学芸員)

シュルレアリスムと聞くと、なんだか難しそう・・・と思っているみなさま方にぜひこの講座をとおしてシュルレアリスムの面白さを知っていただこうと思います。難しい話は少しだけ。講師の友井学芸員を囲んでシュルレアリスムの画家たちが好んで用いた技法を楽しく追体験してみたいと思います。

【学芸員による展示解説】

1月14日[月・祝] 午後2時～2時45分／展示室1・2[2階]／解説者:竹内利夫(学芸員)

※祝日のためどなたも無料で参加できます。

【こども鑑賞クラブ】

12月8日[土] 午後2時～2時45分／展示室1[2階]／対象:小学生(保護者同伴可)

参加費:無料(同伴の保護者は観覧券が必要です。)／講師:学芸員ほか

展示総数 (所蔵作品展「徳島のコレクション 2012-Ⅲ」)

【20世紀の人間像】 27点 会場－展示室1

今期は「表情」を切り口に多彩な人間像を眺めてみたいと思います。

「表情は伝える」コーナーでは、ピカソや安井曾太郎の肖像画を中心に、顔立ちだけでなく物腰まで想像させるような人物表現の魅力をご覧ください。また9月に開催した特集「親と子で見るアート」にちなんで、子どもたちの表情も集めています。

「顔のない存在」コーナーでは、表情があいまいな中に、存在感や情感を感じさせる、熊谷守一や坂井淑恵らの作品と、顔が見えないながらも、人のかけがえのなさを表した、アバカノヴィッチやジャーの作品を対比させてみます。

【徳島ゆかりの美術】 34点 会場－展示室2

このコーナーでは、徳島出身の作家の作品や徳島の風物を描いた作品を紹介しています。

今期は、徳島の風景と、国民文化祭特別協賛として4大モチーフから「阿波人形浄瑠璃」と「阿波おどり」にちなんだ作品を集めました。

※作品保護のため、12月17日をはさんで展示替えを行います。

12月16日までの点数23点、12月18日からの点数24点。

【現代版画】 32点 会場－展示室1

現代版画のコレクションから、赤、青、黄、黒の4つの色をテーマに作品を選び、4回に分けてご紹介します。

○色のパワー:黄 会期:11月20日[火]－12月16日[日] 14点

○色のパワー:黒 会期:12月18日[火]－1月27日[日] 18点

※前期日程(開催済)「色のパワー:赤」9月8日－、「色のパワー:青」10月16日－

この他に、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に12作家、12点を展示します。

●総出品点数(会期中展示替を含む総点数):146点

●分野別内訳:(会期中展示替を含む総点数)

油彩画他25点、日本画5点、彫刻・立体17点、版画81点、写真2点、素描15点、二次資料1点

本展は、第27回国民文化祭・とくしま2012 特別協賛事業です。